

2022年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	大阪市高速電気軌道株式会社
---------	---------------

本年度整備費	3,430 百万円
--------	-----------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）		
設備名	整備数	駅名
ホームドア	駅 番線	
エレベーター	駅 基	
エスカレーター	駅 基	
スロープ	駅 ヶ所	
内方線付点状ブロック	駅 番線	
段差隙間縮小に資する設備	駅 番線	
バリアフリースイッチ	駅 ヶ所	
車両のフリースペース	編成 両	
その他	各 駅	
備考	その他内訳：サービス情報表示器（41駅） 東三国駅、昭和町駅、太子橋今市駅、南森町駅、谷町六丁目駅、肥後橋駅、花園町駅、岸里駅、北加賀屋駅、住之江公園駅、阿波座駅、森ノ宮駅、緑橋駅、野田阪神駅、玉川駅、西長堀駅、桜川駅、今里駅、新深江駅、小路駅、北巽駅、南巽駅、扇町駅、大正駅、ドーム前千代崎駅、西大橋駅、松屋町駅、玉造駅、大阪ビジネスパーク駅、蒲生四丁目駅、今福鶴見駅、横堤駅、鶴見緑地駅、門真南駅、井高野駅、瑞光四丁目駅、だいどう豊里駅、清水駅、新森古市駅、関目成育駅、鳴野駅	

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	駅
	二経路以上確保駅	駅

本年度徴収額	0 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)			
備考			

本年度までの累計整備費	5,724 百万円
本年度までの累計徴収額	0 百万円

2022年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	48 駅	98 番線	(継続) 谷町線・四つ橋線・中央線※	1,015 百万円
エレベーター	駅	基		0 百万円
エスカレーター	駅	基		0 百万円
スロープ	駅	ヶ所		0 百万円
内方線付点状ブロック	駅	番線		0 百万円
段差隙間縮小	駅	番線		0 百万円
バリアフリートイレ	駅	ヶ所		0 百万円
車両のフリースペース	編成	両		0 百万円
その他	各 駅			197 百万円
備考	その他内訳：サービス情報表示器（51駅）東三国駅、昭和町駅、太子橋今市駅 他48駅 ※ 谷町線 25駅（大日駅等、設置済み東梅田駅除く全駅） 四つ橋線 9駅（肥後橋駅等、設置済み西梅田駅、大国町駅除く全駅） 中央線 14駅（コスモスクエア駅等全駅）			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	駅	番線		0 百万円
エレベーター	7 駅	10 基	(新規) 天王寺駅、なかもず駅、東梅田駅、四つ橋駅、森ノ宮駅、緑橋駅 他1駅	291 百万円
エスカレーター	7 駅	8 基	(新規) 梅田駅、東梅田駅、北加賀屋駅、大阪港駅、九条駅 他2駅	230 百万円
バリアフリートイレ	駅	ヶ所		0 百万円
車両	編成	両		0 百万円
その他	各 駅			748 百万円
備考	その他の内訳：旅客案内表示器、案内設備（サイン）、点字ブロック			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）				
維持管理費			949 百万円	
収受システム改修費			0 百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)			0 百万円	
備考	ホームドア、エレベーター、エスカレーター等のメンテナンス			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)									
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅							
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率						
2021年度	0	番線	0	%	—	駅	—	%	0	駅	0	%
2022年度	0	番線	0	%	—	駅	—	%	0	駅	0	%
2023年度	11	番線	11	%	—	駅	—	%	0	駅	0	%
2024年度	47	番線	59	%	—	駅	—	%	1	駅	20	%
2025年度	40	番線	100	%	—	駅	—	%	4	駅	100	%
累計	98	番線	100	%	—	駅	—	%	5	駅	100	%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	10 %
2027年度	— 番線	— %	— 駅	— %	1 駅	15 %
2028年度	— 番線	— %	— 駅	— %	3 駅	30 %
2029年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	40 %
2030年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	50 %
2031年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	60 %
2032年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	70 %
2033年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	80 %
2034年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	90 %
2035年度	— 番線	— %	— 駅	— %	2 駅	100 %
累計	— 番線	— %	— 駅	— %	20 駅	100 %

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること